

様式第二

宅地造成又は特定盛土等に関する工事の許可申請書

宅地造成及び特定盛土等規制法 第12条第1項 、 第30条第1項 の規定により、許可を申請します。 令和〇〇年 〇〇月 〇〇日 (あて先) 京都市長		※手数料欄 宅地造成等工事規制区域：第12条第1項 特定盛土等規制区域：第30条第1項 該当する規定を○で囲んでください。			
申請者 氏名 (株) 〇〇〇〇 代表取締役 京都 一郎					
1	工事主住所氏名 (法人役員住所氏名)	京都市〇〇区〇〇町〇〇番〇〇 (株) 〇〇〇〇 代表取締役 京都 一郎 (〇〇県〇〇市〇〇町〇〇番〇〇 代表取締役 京都 一郎)			
2	設計者住所氏名	京都市〇〇区〇〇町〇〇番〇〇 (株) 〇〇〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇 下記の条件に該当する場合は、資格(手引別表9参照)が必要です。(氏名の横に「○」をつけてください)。 ・高さが5mを超える擁壁の設置 ・盛土又は切土をする土地の面積が1,500㎡を超える土地における排水施設の設置			
3	工事施行者住所氏名	京都市〇〇区〇〇町〇〇番〇〇 (株) 〇〇〇〇 代表取締役 〇〇 〇〇	緯度及び経度の「秒」は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで記入してください。		
4	土地の所在地及び地番 (代表地点の緯度経度)	京都市〇〇区〇〇町〇〇番〇〇 (緯度：〇〇度〇〇分〇〇. 〇秒、経度〇〇〇度〇〇分〇〇. 〇秒)			
5	土地の面積	宅地、農地等又は公共施設用地のうち該当するものを記載してください。	〇〇〇. 〇〇平方メートル 小数点第3位を切り捨ててください。		
6	工事着手前の土地利用状況	宅地、農地等			
7	工事完了後の土地利用	宅地(住宅建築あり)			
宅地、農地等又は公共施設用地のうち該当するもの及び建築物等の有無など具体的な内容を記載してください。		宅地(露天駐車場：建築物なし)、宅地(露天資材置場：建築物なし) 農地等(畑)、農地等(田)			
8	盛土のタイプ	平地盛土・腹付け盛土・谷埋め盛土			
9	土地の地形	溪流等への該当 有・無			
10	工事概要	イ 盛土又は切土の高さ	盛土〇. 〇〇メートル、切土〇. 〇〇メートル ・盛土又は切土の最大箇所の高さを記載してください。 ・小数点第3位を切り捨ててください。		
		ロ 盛土又は切土をする土地の面積	〇〇〇. 〇〇平方メートル 小数点第3位を切り捨ててください。		
		ハ 盛土又は切土の土量	盛土 〇〇〇. 〇〇立方メートル 小数点第3位を切り捨ててください。 切土 〇〇〇. 〇〇立方メートル 見え高を記載してください 小数点第3位を切り捨ててください。		
		ニ 擁壁	擁壁タイプにより、記載事項が多い場合は、別紙に記載してください。		
		番号	構造	高さ	延長
		①	鉄筋コンクリート造	〇. 〇〇メートル	〇. 〇〇メートル
		②	鉄筋コンクリート造	〇. 〇〇メートル	〇. 〇〇メートル
		③	練積み造	〇. 〇〇メートル	〇. 〇〇メートル

10 工 事 の 概 要	ホ 崖面崩壊防止施設	番 号	種 類	高 さ	延 長
		なし		メートル	メートル
	排水施設の種類により、記載事項が多い場合は、別紙に記載してください。	番 号	種 類	内法寸法	延 長
	へ 排 水 施 設	①	宅内雨水枿	〇〇センチメートル	〇箇所
		②	雨水取付管	VP φ 150mm	〇. 〇〇メートル
		③	U字側溝	〇〇センチメートル	〇. 〇〇メートル
	ト 崖面の保護の方法	L型擁壁及び練積み擁壁で保護			小数点第3位を切り捨ててください。
	チ 崖面以外の地表面の保護の方法	<p>地表面は崖と反対方向に排水勾配を付して、雨水は宅内雨水枿に集水し、既存の道路側溝に適切に排水する。</p> <p>適切な排水勾配を付すため、地表面の保護を必要としない。</p> <p>のり面は30度以下（1：1.8）とし、植生シートでのり面を保護する。</p>			
リ 工事中の危害防止のための措置	別紙防災措置説明書のとおり				
ヌ その他の措置	なし				
ル 工事着手予定年月日	許可日から60日以内				
ヲ 工事完了予定年月日	着手日から180日以内				
ワ 工程の概要	準備工→土工・擁壁工・排水工・のり面工→整地				
11	その他必要な事項	<ul style="list-style-type: none"> ・道路敷一部現状変更申請予定（道路法第24条） ・公共下水道施設接続工事施工承認申請予定（下水道法第16条） ・風致地区内における現状変更行為の許可申請予定（京都市風致地区条例第2条第1項） ・土地の埋立て等許可申請予定（京都市土砂等による土地の埋立て等の規制に関する条例第10号） ・伐採及び伐採後の造林の届出予定（森林法第10条の8第1項） <p>・造成工事に伴い、他法令等の手続きが必要な場合は、手続き内容について記載してください。</p> <p>・手続き状況については、「申請予定、申請中、申請済」と状況が分かるように記載してください。</p>			
※受付欄		※決裁欄		※許可に当たって付した条件	
年 月 日		年 月 日		※許可番号欄	
第 号		第 号		第 号	
係員氏名		係員氏名		係員氏名	

〔注意〕

- 1 ※印のある欄は記入しないでください。
- 2 申請者、1欄の工事主、2欄の設計者又は3欄の工事施行者が法人であるときは、氏名は、当該法人の名称及び代表者の氏名を記入してください。
- 3 1欄の工事主が法人であるときは、工事主住所氏名のほか、当該法人の役員住所氏名を記入してください。
- 4 2欄は、資格を有する者の設計によらなければならない工事を含むときは、氏名の横に○印を付してください。
- 5 3欄は、未定のときは、後で定まってから工事着手前に届け出てください。
- 6 4欄は、代表地点の緯度及び経度を世界測地系に従って測量し、小数点以下第一位まで記入してください。
- 7 8欄は、該当する盛土のタイプに○印を付してください（複数選択可）。
- 8 9欄は、溪流等（令第7条第2項第2号に規定する土地をいう。）への該当の有無のいずれかに○印を付してください。
- 9 11欄は、宅地造成又は特定盛土等に関する工事を施行することについて他の法令による許可、認可等を要する場合においてのみ、その許可、認可等の手続の状況を記入してください。